

報道機関各位

観光課 観光係

タイトル 令和2年度赤穂市観光客動態調査報告書の配布について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	令和2年度赤穂市観光客動態調査報告書
日時	_____
場所・住所	_____
趣旨・目的（PRしたいこと）  例年、市内各施設のご協力をいただき観光統計調査を実施しております。 この度、令和2年度赤穂市観光客動態調査報告書を作成いたしましたので、ご高覧のほどよろしくお願い申し上げます。  令和2年度観光客入込数 736千人（対前年比 49.1%） 日帰り客 539千人（対前年比 44.2%） 宿泊客 197千人（対前年比 70.4%）	
問い合わせ先	部課係名：産業振興部観光課観光係 担当者名：寺下 電話：0791-43-6839（内線 2261） FAX：0791-46-3400

○添付資料 有 無 ○ホームページへの掲載 有 無 ○議会報告 有 無

# 令和2年度 赤穂市観光客動態調査報告書



日の出（大塚海岸）

赤穂市

# はじめに

この調査は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間に赤穂市を訪れた観光客を把握し、今後の観光客への宣伝活動や受入体制の整備等を推進する資料として集計したものである。また、参考のため最近10年間の形態別入込数及び目的別入込数を比較し、兵庫県観光客動態調査結果（速報版）を抜粋し掲載した。

なお、調査方法は市内の観光施設、宿泊施設など人数の把握が出来るところからの回答をもとにし、把握の出来ないところについては含んでいない。また、1回の旅行過程で複数の観光施設に入込んだ観光客については、延べ人数で計上している。

## 目次

### 年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数 .....	2
2 目的別入込数 .....	4
3 観光客入込動向の分析 .....	6

### 参考資料

令和2年度兵庫県観光客動態調査結果 .....	13
-------------------------	----

# 年度別の赤穂市観光客入込数調査

## 1 形態別入込数

項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		入込数		入込数		入込数		入込数		
		千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	
総入込数		1,433	100%	1,487	100%	1,503	100%	1,500	100%	
日 帰 り ・ 宿 泊 別	日帰り客	1,186	83%	1,227	83%	1,243	83%	1,210	81%	
	宿泊客	247	17%	260	17%	260	17%	290	19%	
	宿泊客のうち施設別	ホテル・旅館	205	83%	216	83%	216	83%	244	84%
		公的宿泊施設	13	5%	12	5%	11	4%	12	4%
		寮・保養所	1	1%	1	1%	1	1%	1	1%
その他（キャンプ等）		28	11%	31	12%	32	12%	33	11%	
居住地別	県外客	530	37%	550	37%	571	38%	600	40%	
	県内客	903	63%	937	63%	932	62%	900	60%	
	（県内客のうち市民）	372	—	327	—	316	—	315	—	
利用交通機関別	J R	244	17%	223	15%	226	15%	210	14%	
	貸切バス	71	5%	75	5%	90	6%	90	6%	
	自家用車	1,032	72%	1,100	74%	1,097	73%	1,125	75%	
	その他（タクシー等）	86	6%	89	6%	90	6%	75	5%	

\*居住地別及び利用交通機関別の項目中、観光客の入込数及び比率は調査回答の内容による推定値である。

平成27年度 入込数		平成28年度 入込数		平成29年度 入込数		平成30年度 入込数		令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(2/元) %
1,542	100%	1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	49.1%
1,226	80%	1,153	79%	1,194	80%	1,135	80%	1,220	81%	539	73%	44.2%
316	20%	309	21%	295	20%	278	20%	280	19%	197	27%	70.4%
266	84%	259	84%	247	84%	242	87%	236	84%	162	82%	68.6%
13	4%	13	4%	12	4%	1	1%	10	4%	7	4%	70.0%
1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	—
36	11%	37	12%	36	12%	35	12%	34	12%	28	14%	82.4%
632	41%	629	43%	655	44%	650	46%	675	45%	327	44%	48.4%
910	59%	833	57%	834	56%	763	54%	825	55%	409	56%	49.6%
324	—	278	—	268	—	240	—	225	—	119	—	52.9%
231	15%	205	14%	208	14%	198	14%	225	15%	110	15%	48.9%
93	6%	88	6%	89	6%	99	7%	90	6%	37	5%	41.1%
1,141	74%	1,111	76%	1,132	76%	1,074	76%	1,155	77%	567	77%	49.1%
77	5%	58	4%	60	4%	42	3%	30	2%	22	3%	73.3%

## 2 目的別入込数

項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	入込数		入込数		入込数		入込数	
	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数	1,433	100%	1,487	100%	1,503	100%	1,500	100%
自然鑑賞(御崎ほか)	37	3%	34	2%	29	2%	29	2%
社寺参拝(花岳寺・大石神社ほか)	86	6%	84	6%	79	5%	74	5%
まつり(義士祭ほか)	164	11%	182	12%	195	13%	182	12%
ハイキング・キャンプ(御崎)	29	2%	30	2%	31	2%	31	2%
釣り・潮干狩り	35	2%	35	2%	32	2%	30	2%
施設見学	142	10%	130	9%	131	9%	129	9%
ゴルフ・テニス	87	6%	92	6%	90	6%	93	6%
温泉	273	19%	257	17%	251	17%	246	16%
公園・遊園地	412	29%	470	32%	489	32%	499	33%
ツーリズム施設	168	12%	173	12%	176	12%	187	13%

平成25年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成25～27年度)策定
平成26年4月	赤穂観光周遊バスの名称を「陣たくん号」に改称
平成27年10月	第27回忠臣蔵サミットを赤穂市で開催
平成28年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成28～30年度)策定
平成28年3月	坂越大橋供用開始
平成28年8月	赤穂市周辺の特異な地質構造を「赤穂コールドロン」と命名((国研)産業技術総合研究所)

平成27年度 入込数		平成28年度 入込数		平成29年度 入込数		平成30年度 入込数		令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(2/元) %
1,542	100%	1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	49.1%
27	2%	23	2%	20	1%	18	1%	21	1%	7	1%	33.3%
77	5%	65	4%	57	4%	53	4%	61	4%	21	3%	34.4%
135	9%	134	9%	154	10%	175	12%	239	16%	10	1%	4.2%
34	2%	35	2%	46	3%	42	3%	33	2%	26	3%	78.8%
32	2%	28	2%	26	2%	19	1%	13	1%	13	2%	100.0%
132	8%	129	9%	138	9%	121	9%	131	9%	68	9%	51.9%
96	6%	99	7%	101	7%	87	6%	89	6%	87	12%	97.8%
272	18%	258	18%	257	17%	252	18%	228	15%	111	15%	48.7%
558	36%	508	35%	518	35%	465	33%	527	35%	337	46%	63.9%
179	12%	183	13%	172	12%	181	13%	158	11%	56	8%	35.4%

平成28年12月、29年3月	赤穂 素・流・人(ソ・ル・ト)プロモーション推進事業 観光アプリ整備(12月)、観光PV制作(3月)
平成29年10月	JR有年駅橋上駅舎全面供用開始
平成30年5月	日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定
平成31年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成31～33年度)策定
令和元年5月	日本遺産「『日本第一』の塩を産したまち播州赤穂」認定
令和3年3月	「赤穂スイーツブック」作成

### 3 観光客入込動向の分析

#### 総入込数

令和2年度の赤穂市への観光入込客数は、令和元年度に対して49.1%となり、人数にして764千人減の736千人となった。

宿泊施設については、宿泊客が前年度比70.4%、人数にして83千人の減、日帰り客が前年度比44.2%、人数にして681千人の減となった。

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等がなされ、兵庫県は令和2年4月7日から5月21日まで、令和3年1月14日から2月28日まで、それぞれ緊急事態措置実施区域となった。赤穂義士祭においてはパレードや会場行事が中止となったことや、各種イベントの中止、延期などが、観光入込客数の減少要因となった。

過去10年度間の比較では、総入込数は1,500千人前後の横ばい傾向が続いていたが、約半数まで減少した。

#### 形態別にみた入込動向

- (1) 宿泊客が前年度比70.4%、人数にして83千人の減少、日帰り客が前年度比44.2%、人数にして681千人の減少となった。(表1参照)
- (2) 月別入込数は、年間を通じて減少しているが、特に春は前年比36.2%と最も大きく減少した。一方秋は前年度比74.6%と、減少幅が小さかった。(表2・3参照)
- (3) 利用交通機関別では、自家用車を利用した観光客が567千人(前年度比49.1%)で全体の77%と最も多く、次いでJRが110千人(前年度比48.9%)、貸切バスが37千人(前年度比41.1%)、その他(タクシー等)が22千人(前年度比73.3%)となっている。(表4参照)

#### 目的別にみた入込動向

- (1) 鑑賞型入込数は、「自然鑑賞」「社寺参拝」「まつり」「施設見学」すべてにおいて減少している。結果として全体で346千人の減少となった。(表5参照)
- (2) スポーツ型入込数は、「ハイキング・キャンプ」の入込数が前年度比78.8%、人数にして7千人の減少、「ゴルフ・テニス」の入込数が前年度比97.8%、人数にして2千人の減少となった。(表5参照)
- (3) 行楽型入込数では、「温泉」の入込数が前年度比48.7%、人数にして117千人の減少、「公園・遊園地」の入込数が前年度比63.9%、人数にして190千人の

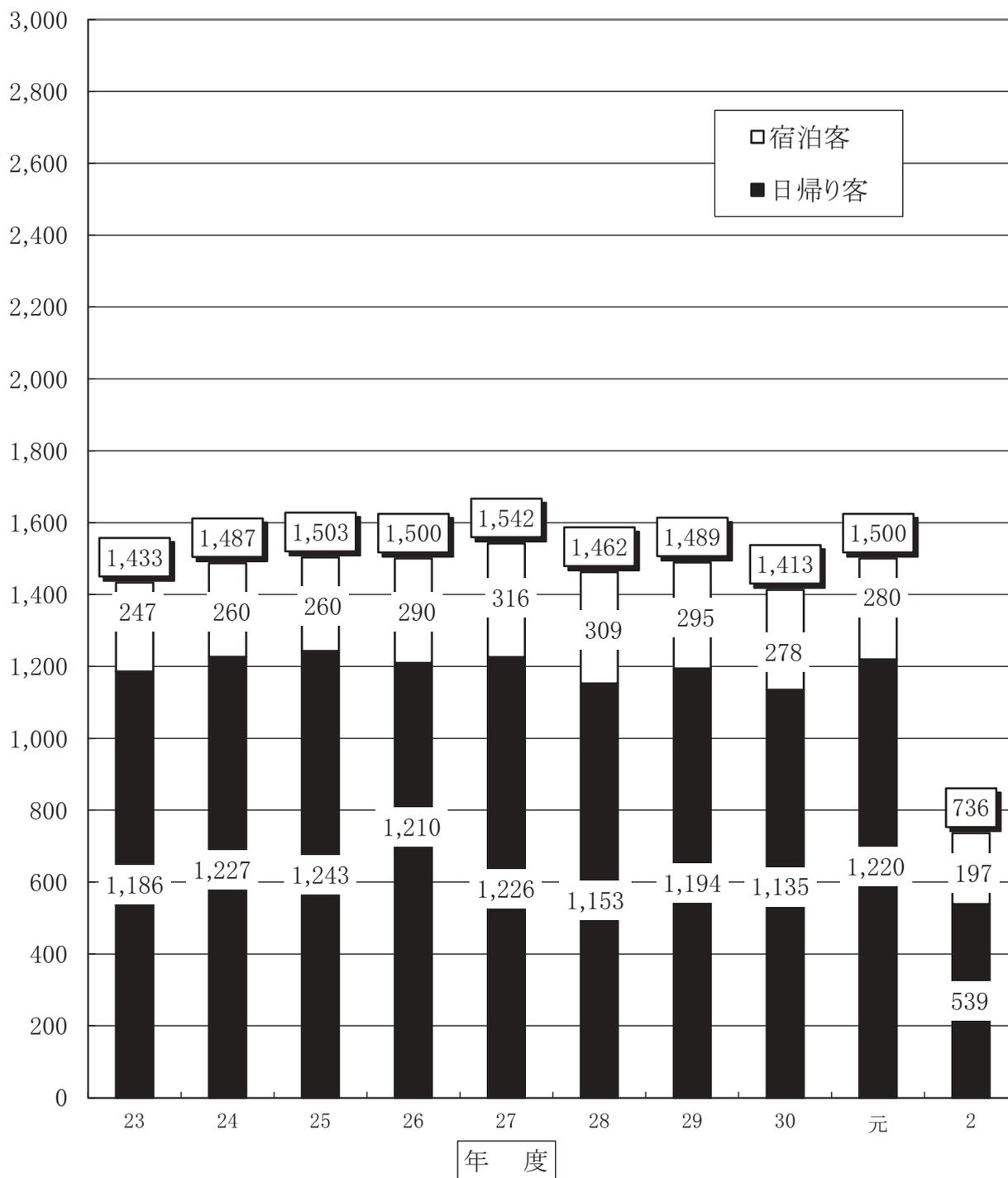
減少となった。(表5参照)

- (4) 体験型入込数は、「ツーリズム施設」の入込数が前年度比35.4%、人数にして102千人の減少となった。(表5参照)
- (5) 目的別入込数を全体比率からみると比率の大きなものから順に、公園・遊園地337千人(46%)、温泉111千人(15%)、ゴルフ・テニス87千人(12%)、施設見学68千人(9%)、ツーリズム施設56千人(8%)、ハイキング・キャンプ26千人(3%)、社寺参拝21千人(3%)、釣り・潮干狩り13千人(2%)、まつり10千人(1%)、自然鑑賞7千人(1%)となっている。(表5参照)

〈表1〉

人数(千人)

観光客総入込数の年次推移

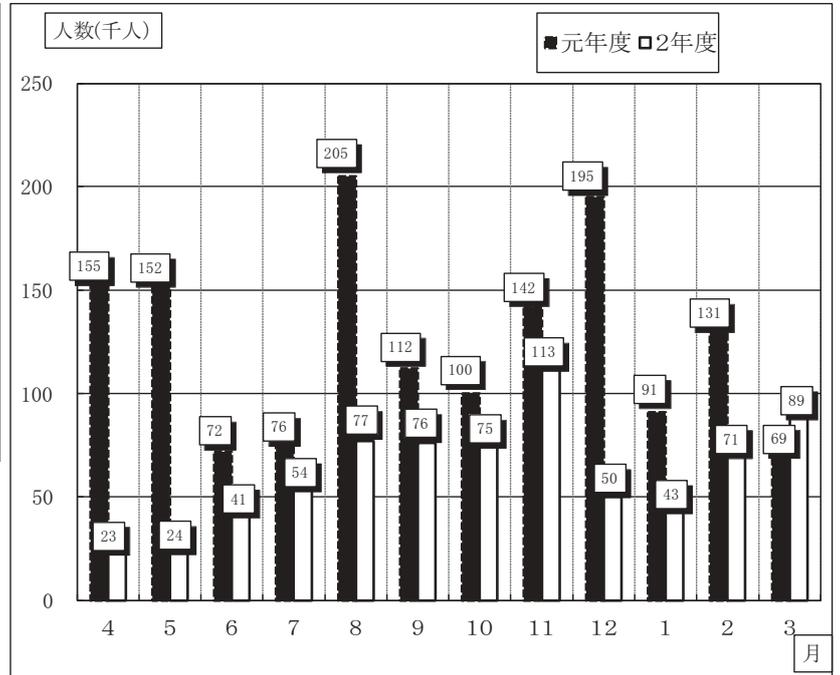


〈表2〉

### 月 別 入 込 数

(千人)

月	元年度	2年度	増減	対前年比
4	155	23	△ 132	14.8%
5	152	24	△ 128	15.8%
6	72	41	△ 31	56.9%
7	76	54	△ 22	71.1%
8	205	77	△ 128	37.6%
9	112	76	△ 36	67.9%
10	100	75	△ 25	75.0%
11	142	113	△ 29	79.6%
12	195	50	△ 145	25.6%
1	91	43	△ 48	47.3%
2	131	71	△ 60	54.2%
3	69	89	20	129.0%
合 計	1,500	736	△ 764	49.1%

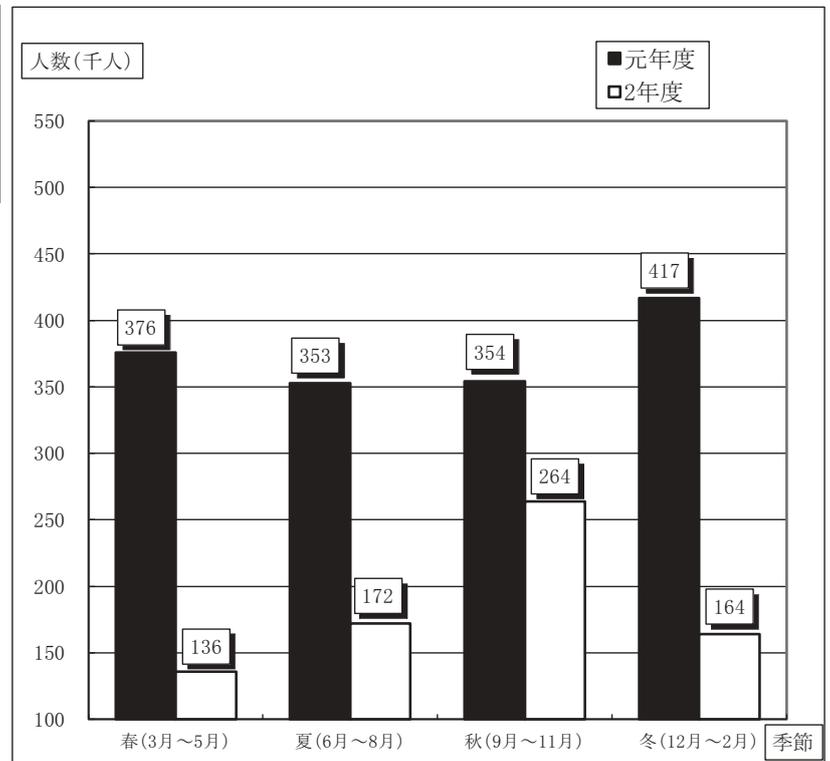


〈表3〉

### 季 節 別 入 込 数

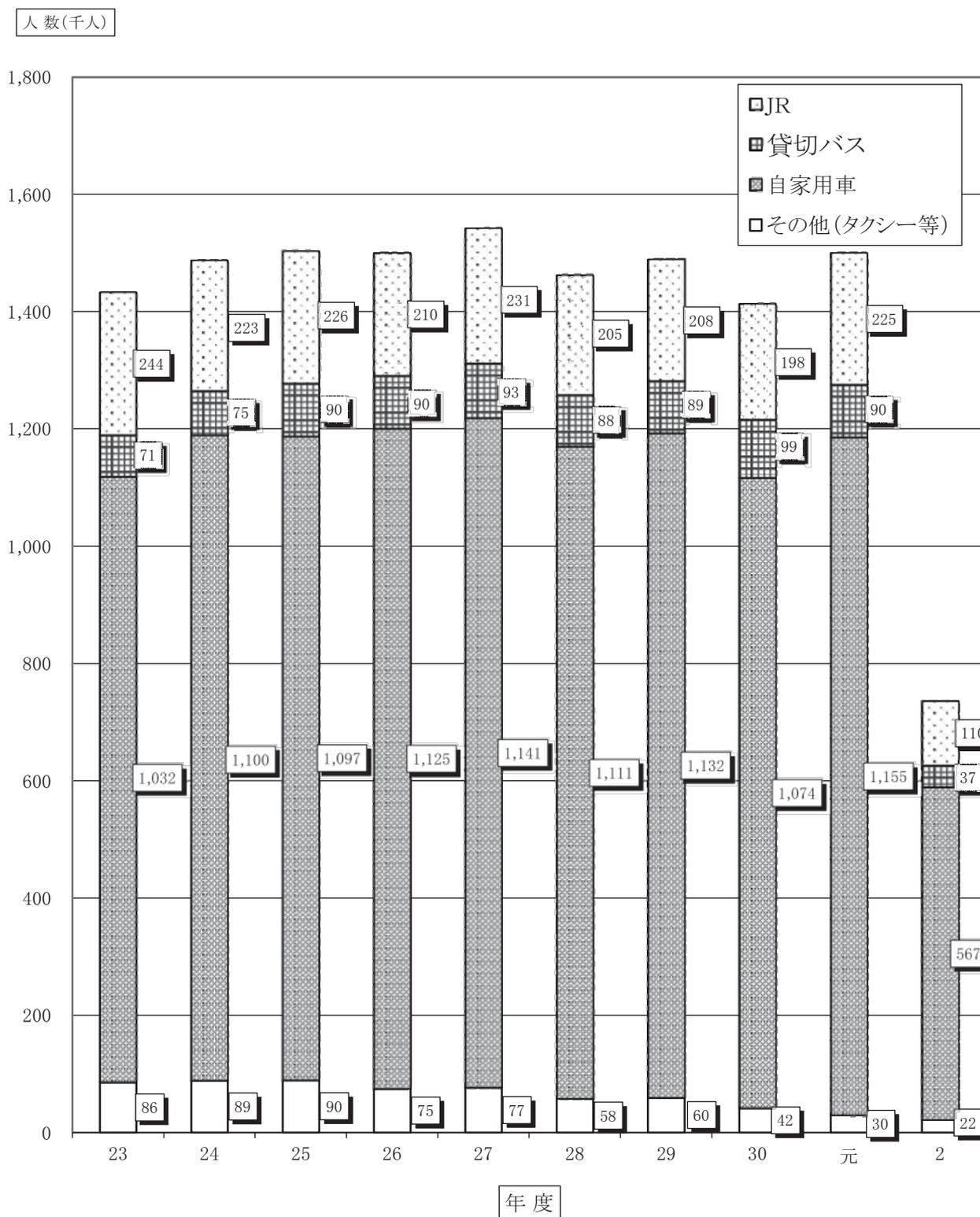
(千人)

季節	元年度	2年度	増減	対前年比
春(3月～5月)	376	136	△ 240	36.2%
夏(6月～8月)	353	172	△ 181	48.7%
秋(9月～11月)	354	264	△ 90	74.6%
冬(12月～2月)	417	164	△ 253	39.3%
合 計	1,500	736	△ 764	49.1%



〈表4〉

利用交通機関別入込数

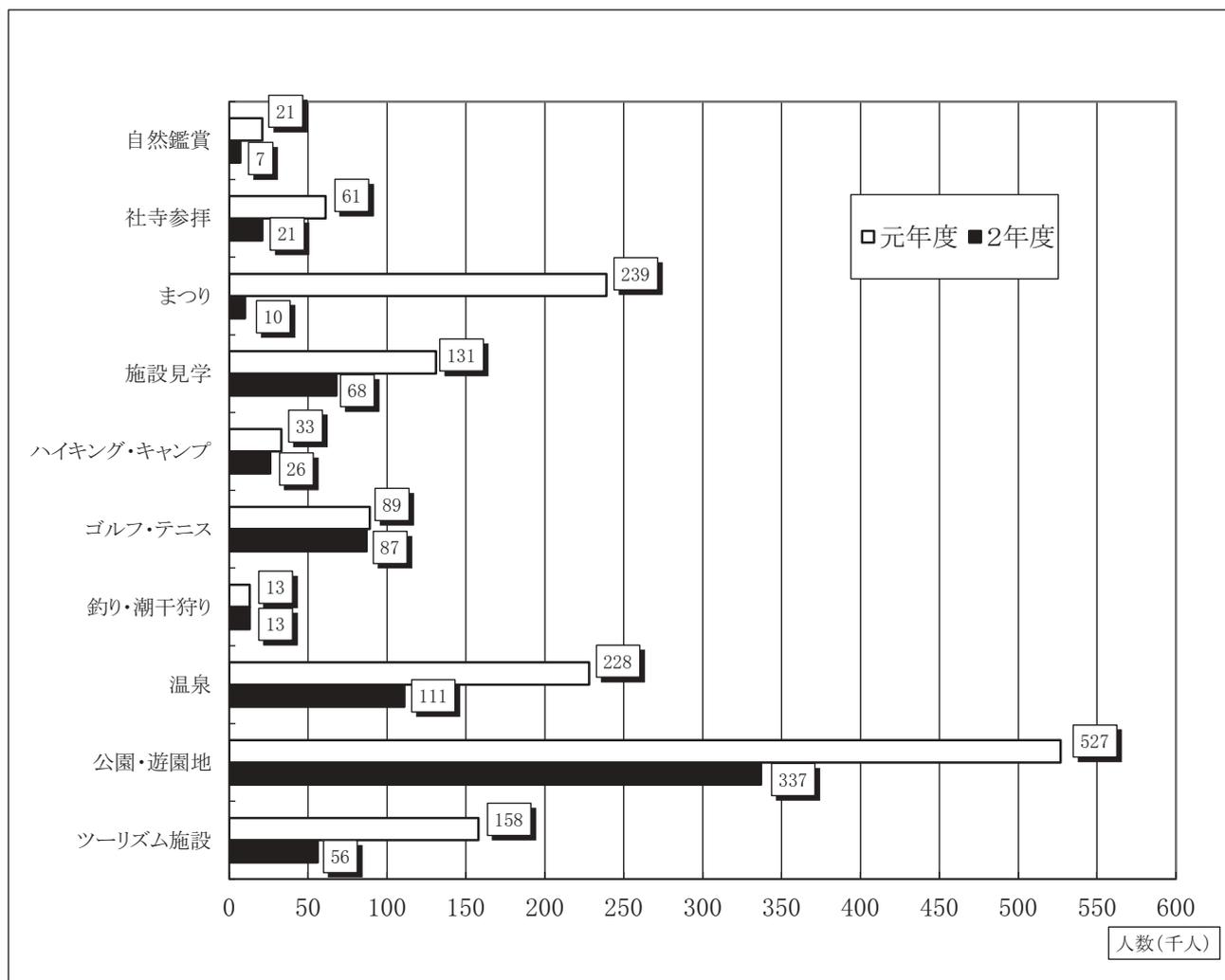


〈表5〉

目的別入込数

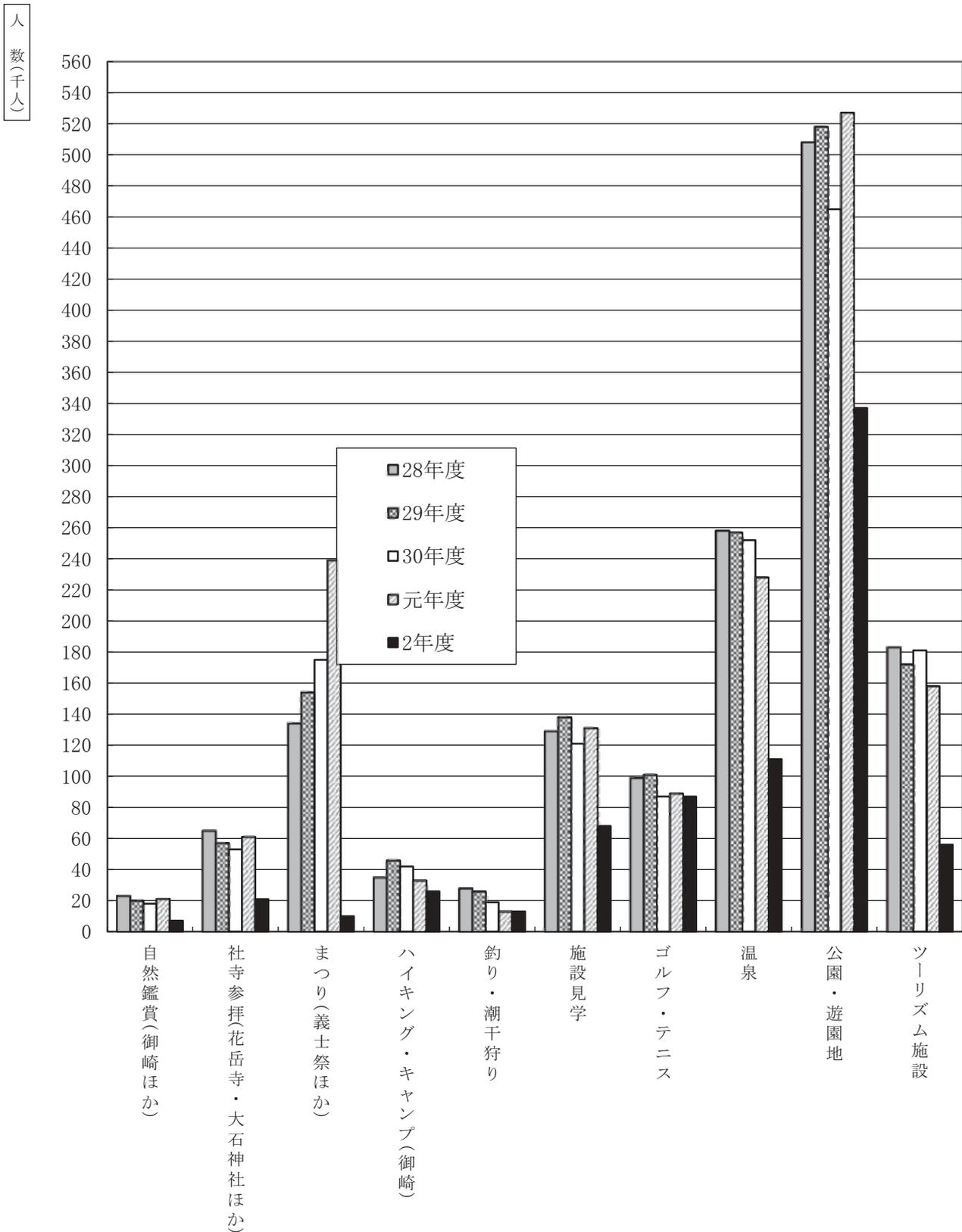
(千人・%)

区分	内容	元年度		2年度		増減	対前年度比
		入込数	構成比	入込数	構成比		
鑑賞型	自然鑑賞	21	1%	7	1%	△ 14	33.3%
	社寺参拝	61	4%	21	3%	△ 40	34.4%
	まつり	239	16%	10	1%	△ 229	4.2%
	施設見学	131	9%	68	9%	△ 63	51.9%
小計		452	30%	106	14%	△ 346	23.5%
スポーツ型	ハイキング・キャンプ	33	2%	26	4%	△ 7	78.8%
	ゴルフ・テニス	89	6%	87	12%	△ 2	97.8%
小計		122	8%	113	15%	△ 9	92.6%
行楽型	釣り・潮干狩り	13	1%	13	2%	0	100.0%
	温泉	228	15%	111	15%	△ 117	48.7%
	公園・遊園地	527	35%	337	46%	△ 190	63.9%
小計		768	51%	461	63%	△ 307	60.0%
体験型	ツーリズム施設	158	11%	56	8%	△ 102	35.4%
合 計		1,500	100%	736	100%	△ 764	49.1%



〈表6〉

最近5年間の目的別入込数



記者発表（資料配布）				
月 日	担当課室名係名	TEL	発表者名（担当班長名）	その他配布先
10月4日(月) 10:00	観光企画課 企画調査班	直通 078-362-3871 内線 3799	観光企画課長 東尾 憲秀 (企画調査班長 菅原 崇行)	—

## 令和2年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

### 1 観光入込客数

令和2年度の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度を5,819万人下回る7,832万人(▲42.6%)となった。

<参考：調査対象>	
・調査対象期間	令和2年4月～令和3年3月
・調査対象基準	年間入込客数10,000人以上もしくは特定月5,000人以上の施設等
・調査対象地点数	約1,200地点

#### (1) 地域別の状況について

新型コロナウイルス感染拡大防止による2度の緊急事態宣言発令や外出自粛、各施設の臨時休業やイベント中止などの影響により人流が抑制され、全ての地域で大幅減となった。

神戸、阪神南、中播磨は、都市部での人流抑制が影響したものの、北播磨、丹波等では公園等の屋外施設では平年並みとなったところもある等、地域によって差が見られる結果となった。

(単位：千人)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全 県
令和2年度	15,630	7,895	12,401	6,151	10,809	4,300	3,697	5,779	3,634	8,024	78,320
令和元年度	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603	136,508
対前年度比	▲19,790 ▲55.9%	▲6,832 ▲46.4%	▲6,534 ▲34.5%	▲3,697 ▲37.5%	▲3,132 ▲22.5%	▲6,066 ▲58.5%	▲2,490 ▲40.2%	▲3,630 ▲38.6%	▲1,438 ▲28.4%	▲4,579 ▲36.3%	▲58,188 ▲42.6%

地域	対前年度比	主な増減要因
神戸	▲1,979.0万人 (▲55.9%)	・ラグビーワールドカップ2019終了に加え、神戸ルミナリエ等のイベント中止や、有馬温泉(金の湯等)や北野工房のまち等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。
阪神南	▲683.2万人 (▲46.4%)	・阪神甲子園球場で春の選抜高校野球大会等の中止や、尼崎城等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。
阪神北	▲653.4万人 (▲34.5%)	・宝塚大劇場で公演の中止、宝塚北サービスエリア等の多くの施設で外出自粛の影響により大きく減少。有馬富士公園等の屋外施設は平年並み。
東播磨	▲369.7万人 (▲37.5%)	・明石城築城400周年・明石市政100周年記念イベント終了に加え、加古川まつり等のイベント中止や、明石公園等の多くの施設で外出自粛の影響により大きく減少。
北播磨	▲313.2万人 (▲22.5%)	・東条湖おもちゃ王国等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。播磨中央公園や三木市内ゴルフ場等の屋外施設は比較的小幅な減少。
中播磨	▲606.6万人 (▲58.5%)	・灘まつり等の中止や、姫路城や姫路セントラルパーク等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。
西播磨	▲249.0万人 (▲40.2%)	・相生ペーロンまつり等の中止、赤穂温泉や揖保乃糸資料館そうめんの里等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。スキー場等は積雪に恵まれたため増加。
但馬	▲363.0万人 (▲38.6%)	・城崎温泉や湯村温泉、余部鉄橋等の多くの施設で外出自粛の影響により大きく減少。神鍋高原スキー場等は積雪に恵まれたため増加。
丹波	▲143.8万人 (▲28.4%)	・丹波の森公苑でのイベントやセミナーの中止、兵庫陶芸美術館等の多くの施設で臨時休業した影響により大きく減少。水分れ公園、ささやまの森公園等の屋外施設は平年並み。
淡路	▲457.9万人 (▲36.3%)	・慶野松原等の海水浴場の閉鎖や、洲本温泉や伊弉諾神宮等の多くの施設で外出自粛の影響により大きく減少。淡路島公園等は比較的小幅な減少。

(2) 日帰・宿泊別の入込状況

日帰客が7,152万人(▲42.6%、全体比91.3%)、宿泊客が680万人(▲42.6%、全体比8.7%)となり、全ての地域で日帰客、宿泊客ともに大幅減となった。

(単位：千人)

区 分	令和2年度		令和元年度		増減	対前年度比	
	入込客数	全体比	入込客数	全体比			
全 県	総入込数	78,320	100.0%	136,508	100.0%	▲58,188	▲42.6%
	日帰客	71,524	91.3%	124,668	91.3%	▲53,144	▲42.6%
	宿泊客	6,796	8.7%	11,840	8.7%	▲5,044	▲42.6%
神 戸	総入込数	15,630	100.0%	35,420	100.0%	▲19,790	▲55.9%
	日帰客	13,030	83.4%	30,650	86.5%	▲17,620	▲57.5%
	宿泊客	2,600	16.6%	4,770	13.5%	▲2,170	▲45.5%
阪 神 南	総入込数	7,895	100.0%	14,727	100.0%	▲6,832	▲46.4%
	日帰客	7,470	94.6%	14,036	95.3%	▲6,566	▲46.8%
	宿泊客	425	5.4%	691	4.7%	▲266	▲38.5%
阪 神 北	総入込数	12,401	100.0%	18,935	100.0%	▲6,534	▲34.5%
	日帰客	12,168	98.1%	18,567	98.1%	▲6,399	▲34.5%
	宿泊客	233	1.9%	368	1.9%	▲135	▲36.7%
東 播 磨	総入込数	6,151	100.0%	9,848	100.0%	▲3,697	▲37.5%
	日帰客	5,813	94.5%	9,372	95.2%	▲3,559	▲38.0%
	宿泊客	338	5.5%	476	4.8%	▲138	▲29.0%
北 播 磨	総入込数	10,809	100.0%	13,941	100.0%	▲3,132	▲22.5%
	日帰客	10,484	97.0%	13,383	96.0%	▲2,899	▲21.7%
	宿泊客	325	3.0%	558	4.0%	▲233	▲41.8%
中 播 磨	総入込数	4,300	100.0%	10,366	100.0%	▲6,066	▲58.5%
	日帰客	3,806	88.5%	9,385	90.5%	▲5,579	▲59.4%
	宿泊客	494	11.5%	981	9.5%	▲487	▲49.6%
西 播 磨	総入込数	3,697	100.0%	6,187	100.0%	▲2,490	▲40.2%
	日帰客	3,265	88.3%	5,566	90.0%	▲2,301	▲41.3%
	宿泊客	432	11.7%	621	10.0%	▲189	▲30.4%
但 馬	総入込数	5,779	100.0%	9,409	100.0%	▲3,630	▲38.6%
	日帰客	4,718	81.6%	7,489	79.6%	▲2,771	▲37.0%
	宿泊客	1,061	18.4%	1,920	20.4%	▲859	▲44.7%
丹 波	総入込数	3,634	100.0%	5,072	100.0%	▲1,438	▲28.4%
	日帰客	3,494	96.1%	4,858	95.8%	▲1,364	▲28.1%
	宿泊客	140	3.9%	214	4.2%	▲74	▲34.6%
淡 路	総入込数	8,024	100.0%	12,603	100.0%	▲4,579	▲36.3%
	日帰客	7,276	90.7%	11,362	90.2%	▲4,086	▲36.0%
	宿泊客	748	9.3%	1,241	9.8%	▲493	▲39.7%

(3) 目的別の入込状況

目的別として多い順に、①スポーツ・レクリエーション、②歴史・文化、③都市型観光となった。スポーツ・レクリエーションは、公園など屋外施設での減少が比較的緩やかとなり、2,732万人(▲25.4%)に留まった。一方、行催事・イベントは大幅減となり、494万人(▲80.7%)となった。

(単位：千人)

目的	年度	令和2年度		令和元年度		増減	対前年度比
		入込客数	全体比	入込客数	全体比		
総入込客数		78,320	100.0%	136,508	100.0%	▲58,188	▲42.6%
自 然		1,861	2.4%	2,848	2.1%	▲987	▲34.7%
歴 史 ・ 文 化		16,550	21.1%	29,456	21.6%	▲12,906	▲43.8%
温 泉 ・ 健 康		4,546	5.8%	6,792	5.0%	▲2,246	▲33.1%
ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン		27,321	34.9%	36,626	26.8%	▲9,305	▲25.4%
都 市 型 観 光		13,180	16.8%	20,064	14.7%	▲6,884	▲34.3%
そ の 他 ( 道 の 駅 等 )		9,921	12.7%	15,117	11.1%	▲5,196	▲34.4%
行 祭 事 ・ イ ベ ン ト		4,941	6.3%	25,605	18.7%	▲20,664	▲80.7%

(単位：千人)

区 分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総 入 込 客 数	78,320	15,630	7,895	12,401	6,151	10,809	4,300	3,697	5,779	3,634	8,024
自 然	1,561	284	40	127	96	276	365	125	279	33	236
歴 史・文 化	10,650	1,691	3,341	2,961	2,186	686	1,321	346	1,325	358	2,335
温 泉・健 康	1,546	120	0	702	116	545	275	555	1,381	198	654
ス ポー ツ・レ クリ エー シ ョ ン	27,321	1,205	3,526	5,272	2,922	6,529	1,480	1,241	1,054	1,132	2,960
都 市 型 観 光	19,190	8,737	0	524	646	721	275	37	236	1,375	629
そ の 他 ( 道 の 駅 等 )	9,921	243	127	2,776	175	2,003	303	1,236	1,487	424	1,147
行 祭 事・イ ベ ン ト	4,941	3,350	861	39	10	49	281	157	17	114	63

## (4) 四季別の入込状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての季節で大幅減となった。1度目の緊急事態宣言(4/7～5/21)を含む春は、前年度を大きく下回る1,115万人(▲68.4%)となった。国や県の観光需要喚起策が実施された夏・秋は回復が見られた。2度目の緊急事態宣言(1/14～2/28)を含む冬は、積雪に恵まれたスキー場等の入込に回復が見られた。

(単位：千人)

四季	令和2年度入込客数		令和元年度入込客数		増減	対前年度比
	入込客数	全体比	入込客数	全体比		
総 入 込 客 数	78,320	100.0%	136,508	100.0%	▲ 58,188	▲ 42.6%
春(4月～6月)	11,150	14.2%	35,322	25.9%	▲ 24,172	▲ 68.4%
夏(7月～9月)	20,558	26.2%	33,710	24.7%	▲ 13,152	▲ 39.0%
秋(10月～12月)	22,177	28.3%	35,495	26.0%	▲ 13,318	▲ 37.5%
冬(1月～3月)	24,435	31.2%	31,981	23.4%	▲ 7,546	▲ 23.6%

(単位：千人)

区 分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総入込客数	78,320	15,630	7,895	12,401	6,151	10,809	4,300	3,697	5,779	3,634	8,024
春(4月～6月)	11,150	1,642	1,223	2,031	1,095	2,102	440	608	602	587	820
夏(7月～9月)	20,558	3,481	1,655	3,109	1,430	3,018	1,316	1,064	1,862	999	2,624
秋(10月～12月)	22,177	3,748	2,059	3,469	1,519	3,097	1,488	1,080	1,822	1,350	2,545
冬(1月～3月)	24,435	6,759	2,958	3,792	2,107	2,592	1,056	945	1,493	698	2,035

## (5) 主要観光施設への入込客数 (社寺参拝・イベント等を除く)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により順位は大きく入れ替わり、人の密集が生じにくい屋外施設が上位となり、上位10施設のうち5施設が公園となった。

## 令和2年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	明石公園 (明石市)	1,946
2	甲山森林公園 (西宮市)	1,468
3	宝塚北サービスタ (宝塚市)	1,426
4	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,056
5	三木総合防災公園 (三木市)	888
6	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	878
7	有馬富士公園 (三田市)	774
8	道の駅とうじょう (加東市)	651
9	伊丹スカイパーク (伊丹市)	635
10	王子動物園 (神戸市)	621

## 令和元年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	3,836
2	明石公園 (明石市)	3,136
3	宝塚北サービスタ (宝塚市)	2,625
4	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,550
5	姫路城 (姫路市)	1,548
6	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,275
7	北野工房のまち (神戸市)	1,213
8	宝塚大劇場 (宝塚市)	1,140
9	須磨海浜水族園 (神戸市)	1,135
10	王子動物園 (神戸市)	1,109

## 2 経済波及効果等

### (1) 県内観光消費額・観光産業県内総生産

令和2年度県内観光消費額(名目)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により6,821億円(▲45.4%)、観光産業の付加価値額である観光産業県内総生産(名目)は3,840億円(▲45.8%)である。

外出自粛に伴う人流抑制や、近場への旅行が増加したこと等から交通費が大きく減少した影響で、観光消費額全体を押し下げた。

また、物価変動を除いた観光産業県内総生産(実質)は、3,746億円(▲46.0%)、これは、実質県内総生産比1.9%である。

(単位：億円)

<区分>	県内観光消費額 (名目)※1	観光産業県内総生産※2		県内総生産 (実質)(B)	県内総生産(実質)比 (C=A/B) (%)
		名目	実質(A)		
令和2年度	6,821	3,840	3,746	199,667	1.9
平成元年度	12,493	7,088	6,936	205,105	3.4
対前年度比(%)	▲45.4	▲45.8	▲46.0	▲2.7	-

(出典)：兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」、兵庫県観光企画課「兵庫県観光客動態調査」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」、(公社)日本観光振興協会「観光の実態と志向」掲載の単価等を用いて推計

- ※1 観光消費額 = 観光客数 × 観光消費単価(交通費、宿泊費、飲食費、買物代、その他)
- ※2 観光消費額の費目別寄与度：交通費(▲17.4%)、宿泊費(▲4.3%)、飲食費(▲13.0%)、買物代(▲5.3%)、その他(▲5.4%)
- ※3 観光産業県内総生産 = 観光消費額 × 付加価値比率(兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」に基づく)  
(名目) 実際に市場で取引されている価格(市場価格)に基づいて推計された値  
(実質) 基準年次(平成23年)からの物価の変動分(上昇・下落)を名目値から取り除いた値

### (2) 県内観光消費額の経済波及効果概要

「平成27年兵庫県産業連関表」をもとに推計した結果、県内観光消費額(6,821億円)にかかる経済波及効果(生産誘発額)は、1兆25億円(▲45.5%)、県内観光消費により新たに生み出された付加価値誘発額は、5,395億円(▲46.2%)、創出された就業者誘発数は、110千人(▲46.3%)となった。

兵庫県内観光消費額の経済波及効果概要

(単位：億円、人)

項目	令和2年度	令和元年度	対前年度比(%)	備考
経済波及効果(生産誘発額)	10,025	18,391	▲45.5	経済効果(売上額の合計)
直接効果	6,821	12,493	▲45.4	観光消費額(実観光客数×消費単価)
間接効果	3,204	5,898	▲45.7	原材料、消費支出から誘発効果
付加価値誘発額(GDP相当)	5,395	10,026	▲46.2	(売上額－経費等)の合計
就業者誘発数	110,304	205,381	▲46.3	就業者(個人業主、雇用者等)に換算(人)

※兵庫県統計課「平成27年兵庫県産業連関表」を用いて推計

- ※ 経済波及効果(=直接効果+間接効果)
  - ・直接効果：県内観光消費額
  - ・間接効果：産業連関分析により経済波及効果を推計

< 参考資料 1 >

地域別主要施設・イベントの入込状況

(単位:千人)

地域別	観光地・イベント名	R2年度	R元年度	増減	対前年度比	備考(主な増減理由等)
神戸	フルーツ・フラワーパーク	1,056	1,275	▲ 219	▲ 17.2%	
	北野工房のまち	412	1,213	▲ 801	▲ 66.0%	
	王子動物園	621	1,109	▲ 488	▲ 44.0%	
	有馬温泉(金の湯等)	424	673	▲ 249	▲ 37.0%	
阪神南	阪神甲子園球場	531	3,836	▲ 3,305	▲ 86.2%	高校野球の中止や、プロ野球の無観客開催の影響により減少
	尼崎城	32	211	▲ 179	▲ 84.8%	オープン効果の反動に加え、臨時休館を行った影響により減少
	西宮神社	1,595	2,283	▲ 688	▲ 30.1%	
	廣田神社	502	565	▲ 63	▲ 11.2%	
阪神北	宝塚大劇場	517	1,140	▲ 623	▲ 54.6%	
	宝塚北サービスエリア	1,426	2,625	▲ 1,199	▲ 45.7%	
	有馬富士公園	774	774	0	0.0%	
	伊丹スカイパーク	635	682	▲ 47	▲ 6.9%	
東播磨	明石公園	1,946	3,136	▲ 1,190	▲ 37.9%	記念イベント終了の反動に加え、外出自粛の影響により減少
	日岡神社	530	757	▲ 227	▲ 30.0%	
	鹿嶋神社	384	470	▲ 86	▲ 18.3%	
	大中遺跡	129	196	▲ 67	▲ 34.2%	
北播磨	東条湖おもちゃ王国	184	424	▲ 240	▲ 56.6%	
	播磨中央公園	437	460	▲ 23	▲ 5.0%	
	三木市内ゴルフ場	1,042	1,096	▲ 54	▲ 4.9%	
	道の駅とうじょう	651	675	▲ 24	▲ 3.6%	
中播磨	姫路城	390	1,548	▲ 1,158	▲ 74.8%	
	姫路セントラルパーク	334	567	▲ 233	▲ 41.1%	
	好古園	130	428	▲ 298	▲ 69.6%	
	姫路市立動物園	237	420	▲ 183	▲ 43.6%	
西播磨	赤穂温泉	111	228	▲ 117	▲ 51.3%	
	揖保乃糸資料館そうめんの里	65	98	▲ 33	▲ 33.7%	
	道の駅みつ	278	300	▲ 22	▲ 7.3%	
	ちくさ高原スキー場	40	19	21	110.5%	昨年度の記録的な暖冬からの反動に加え、積雪に恵まれ大幅増
但馬	城崎温泉	448	827	▲ 379	▲ 45.8%	
	湯村温泉	106	183	▲ 77	▲ 42.1%	
	余部橋梁	214	314	▲ 100	▲ 31.9%	
	神鍋高原スキー場	108	23	85	369.6%	昨年度の記録的な暖冬からの反動に加え、積雪に恵まれ大幅増
丹波	丹波の森公園	83	236	▲ 153	▲ 64.8%	イベント・セミナー中止等の影響により減少
	兵庫陶芸美術館	51	114	▲ 63	▲ 55.3%	
	水分れ公園	23	23	0	0.0%	
	ささやまの森公園	17	17	0	0.0%	
淡路	伊弉諾神宮	1,778	2,010	▲ 232	▲ 11.5%	
	淡路ハイウェイオアシス	878	1,550	▲ 672	▲ 43.4%	
	洲本温泉	306	481	▲ 175	▲ 36.4%	
	淡路島公園	598	636	▲ 38	▲ 6.0%	

---

令和2年度 赤穂市観光客動態調査報告書

発行 赤穂市

---